平成３０年度第１４回高校生ものづくりコンテスト山形県大会旋盤作業部門
兼　高校生ものづくりコンテスト２０１８東北大会旋盤作業部門予選会

山形県立鶴岡工業高等学校
事務局　　池田　三郎

１　はじめに

６月１０日（日）、山形県立山形工業高等学校にて「平成３０年度第１４回高校生ものづくりコンテスト山形県大会旋盤作業部門　兼　高校生ものづくりコンテスト２０１８東北大会旋盤作業部門予選会」が開催され、今年は米沢工、長井工、山形工、村山産、新庄神室、鶴岡工、酒田光陵から計７名が参加しました。

写真１　選手宣誓

２　大会の様子

課題は昨年度のものをほぼ踏襲しているものの、ネジ・ローレットなどの仕様が変わりました。難易度が高く、今回標準時間（１５０分）内に完成させた選手は１名だけと、高度な技術と熟練を要する難しい競技会となりました。各選手とも加工の段取りやバイトなどにも違いがみられ、技術力が問われる大会となりました。

写真２　大会風景

昨年は上位２名が同点という結果を踏まえ、今年は測定についていくつか改善を試みました。加工した３つの部品を選手が組み込み、選手の立ち合いで測定値を確定したり、予備的に測定結果を公表し、最大５か所の再測定を認めるなどです。選手にとっては納得のいく測定結果になったのではと思います。しかしながら最初の組み込み測定で大幅に時間がかかり、終了時間も遅くなり運営方法については来年度の課題となりました。

３．大会結果

優勝・・・・・・・・・・・・・・・　８０点
　髙橋　翔太（酒田光陵２年）　時間 2:30'
２位・・・・・・・・・・・・・・・　６３点
　菊地　晏莉（長井工業２年）　時間 2:58'
３位・・・・・・・・・・・・・・・　４９点
　武田　　裕（山形工業３年）　時間 2:40'

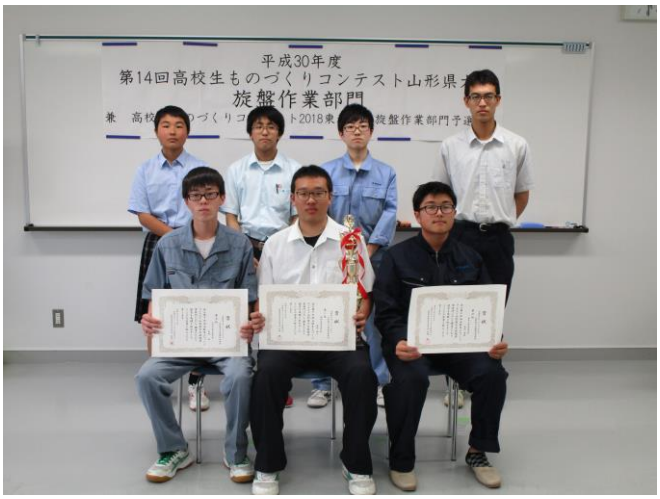

写真３　大会参加選手

３．　おわりに

優勝した髙橋君（酒田光陵）は７月に岩手県奥州市で開催された東北大会に出場しました。競技中に切削工具が故障し実力を発揮しきれずに全国大会へ出場することは出来ませんでしたが、７名中５位と健闘しました。最後に、大会開催においてご支援ご協力を賜りました審査員をはじめ関係各位に御礼申し上げます。